



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日  
東

上場会社名 株式会社エイジス 上場取引所  
 コード番号 4659 URL <https://www.ajis.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 昭生  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 西岡 博之 (TEL) 043-350-0567  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	27,966	△1.5	4,720	10.4	4,862	12.0	3,187	5.8
2020年3月期	28,402	2.6	4,277	13.2	4,343	13.4	3,011	14.3

(注) 包括利益 2021年3月期 3,312百万円(9.5%) 2020年3月期 3,024百万円(15.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	378.94	—	17.7	21.2	16.9
2020年3月期	358.18	—	19.5	21.6	15.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	24,536	19,631	78.5	2,290.28
2020年3月期	21,357	16,909	78.0	1,980.27

(参考) 自己資本 2021年3月期 19,268百万円 2020年3月期 16,651百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	4,047	△309	△594	12,987
2020年3月期	3,637	△1,163	△586	9,850

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	72.00	72.00	605	20.1	3.9
2021年3月期	—	0.00	—	76.00	76.00	639	20.1	3.6
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	76.00	76.00		23.3	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,950	△1.5	1,680	△18.8	1,702	△20.3	1,115	△19.5	132.53
通期	27,300	△2.4	4,000	△15.3	4,060	△16.5	2,740	△14.0	325.68

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
② ①以外の会計方針の変更： 無  
③ 会計上の見積りの変更： 無  
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	10,771,200株	2020年3月期	10,771,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期	2,357,909株	2020年3月期	2,362,432株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	8,411,548株	2020年3月期	8,407,504株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	16,765	△3.1	3,719	3.5	3,793	△0.1	2,594	△4.2
2020年3月期	17,303	△0.8	3,594	17.6	3,796	18.1	2,708	20.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	308.48		—					
2020年3月期	322.20		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	19,782	16,627	84.0	1,976.31
2020年3月期	17,596	14,579	82.9	1,733.86

(参考) 自己資本 2021年3月期 16,627百万円 2020年3月期 14,579百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	17,100	2.0	3,421	△9.8	2,354	△9.3	279.80

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2021年5月14日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他	
役員の異動 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言や各自治体からの外出自粛要請等により経済活動の停滞や個人消費の減退、インバウンド需要の急減など、非常に厳しい状況となりました。緊急事態宣言の解除後も、第2波、第3波と感染者が再び急増し、国内経済の下振れリスクなど、予断を許さない状況が続いております。また海外においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、長期的な景気の落ち込みが予想され、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましては、政府や各自治体からの外出自粛要請や行動制限により「巣ごもり消費」が拡大し、一部の企業では業績が好調に推移するなどの兆しが見られたものの、多くの企業において、雇用情勢の悪化や個人所得の減少による消費者の節約志向が一層進んだ事により、業績は厳しいものになりました。また、業態の垣根を超えた販売競争の激化やネット購買行動の伸長に伴う物流費上昇など、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは引き続き『従業員とお客様の安心と安全確保を最優先とした上で、お客様の依頼に最大限対応する』ことを方針とし、手洗いと手指消毒の励行、マスクの着用、従業員の健康管理の徹底、使用機器の消毒実施、在宅勤務の推進など感染予防対策に取り組み、事業活動を行って参りました。

当連結会計年度のセグメントの概況は、以下の通りであります。

#### I 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、棚卸サービスの新規獲得および店舗支援業務の受注増加など増収要因はあったものの、一部顧客における新型コロナウイルス感染症対策に伴う発注の中止等により減収となりました。利益面においては、棚卸日程の分散化提案等による繁閑格差の是正により棚卸経験者比率が向上したこと、併せて重点施策である棚卸作業の生産性（1時間あたりのカウント数量）向上取り組みの結果、カウント生産性が前期比6.4%伸長したことにより増益となりました。

売上高は16,709百万円（前年同期比3.0%減少）、セグメント利益は3,719百万円（前年同期比3.5%増加）となりました。

##### i 国内棚卸受託収入

棚卸サービスの売上高は前年同期比3.7%減少の15,731百万円となりました。業態別の内訳は次のとおりです。

（コンビニエンスストア）

既存顧客の受注減少等により、売上高は前年同期比3.9%減少の3,419百万円となりました。

（スーパーマーケット）

既存顧客の受注減少等により、売上高は前年同期比9.3%減少の2,226百万円となりました。

（ホームセンター・ドラッグストア）

既存顧客の受注増加等により、売上高は前年同期比2.4%増加の3,814百万円となりました。

（書店）

既存顧客の受注減少等により、売上高は前年同期比16.2%減少の526百万円となりました。

（GMS）（注）

既存顧客の受注減少等により、売上高は前年同期比3.0%減少の2,414百万円となりました。

（専門店等）

既存顧客の受注減少等により、売上高は前年同期比4.2%減少の3,330百万円となりました。

（注）GMS（General Merchandise Store）

大衆実用品のうち、新機能開発品主力の総合店。いわゆる日本型大型総合スーパーであります。

##### ii その他

店舗支援業務の受注増加等により、売上高は前年同期比12.4%増加の794百万円となりました。

## iii ロイヤリティ収入

ロイヤリティ収入は前年同期比4.6%減少の183百万円となりました。

## II リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、既存顧客の店舗改装業務の増加や「巣ごもり消費」の拡大による店舗商品補充業務の受注量増加等が増収要因となりました。第3四半期以降は概ね例年通りの受注状況となりましたが、一部顧客においては採用状況の好転等により店舗商品補充業務を内製化する動きが見られております。利益面では増収に伴う利益の増加、店舗商品補充業務および店舗改装業務の作業生産性向上取り組みの効果もあり、増益となりました。

売上高は9,487百万円（前年同期比10.3%増加）、セグメント利益は1,089百万円（前年同期比105.5%増加）となりました。

## III 海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、新型コロナウイルス感染症の拡大による都市封鎖や行動制限の影響を受け、当社グループ進出地域においても一定期間の事業停止を余儀なくされました。2020年5月以降は全拠点にて事業を再開しておりますが、一部顧客における棚卸サービスの中止や延期、発注店舗数の減少等の要因により減収となりました。また利益面においても売上の減少に伴い減益となりました。

売上高は1,769百万円（前年同期比31.3%減少）、セグメント損失は109百万円（前年同期は133百万円のセグメント利益計上）となりました。

これらの結果から、当連結会計年度の業績は、売上高27,966百万円（前年同期比1.5%減少）、営業利益4,720百万円（前年同期比10.4%増加）、経常利益4,862百万円（前年同期比12.0%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益3,187百万円（前年同期比5.8%増加）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、14.1%増加し、17,582百万円となりました。これは、主として現金及び預金が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、16.9%増加し、6,954百万円となりました。これは、主として投資有価証券の取得によるものです。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、10.5%増加し、4,835百万円となりました。これは、主として未払法人税等が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、3.5%減少し、69百万円となりました。これは、主として長期借入金が減少したことによるものです。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、16.1%増加し、19,631百万円となりました。これは、主として利益剰余金の増加によるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の増減額は、法人税等の支払い、投資有価証券の取得および配当金の支払い等はありませんでしたが、税金等調整前当期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ3,136百万円増加し、当連結会計年度末には、12,987百万円（前年同期比31.8%増加）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動の結果獲得した資金は、4,047百万円（前年同期比11.3%増加）であります。その主な内訳は、収入要因として税金等調整前当期純利益が4,839百万円、支出要因として法人税等の支払額が1,261百万円であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は、309百万円（前年同期比73.4%減少）であります。その主な内訳は、支出要因として投資有価証券の取得による支出が1,200百万円、収入要因として定期預金払戻収入が1,533百万円であります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は、594百万円（前年同期比1.4%増加）であります。その主な内訳は、支出要因として配当金の支払額600百万円であります。

## （参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率（%）	74.8	75.1	75.4	78.0	78.5
時価ベースの自己資本比率（%）	147.5	147.6	156.3	76.8	131.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	1,926.2	3,441.3	2,854.8	2,994.5	7,088.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

（注2）株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

（注4）有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

## (4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く環境は、人口減少や高齢化、海外情勢の変化、収束が見通せない新型コロナウイルス感染症の影響等により、先行きは極めて不透明な状態です。

当社グループは、新型コロナウイルス感染症に対して、従業員およびお客様の安心と安全を最優先に据え、十分な感染防止対策を講じるとともに、お客様のご要望に最大限対応することを基本方針として事業を継続してまいります。

このような環境下において、当社グループは、『顧客にとって価値の高いリテールサポートサービスを確立する』『2030年に向けた新たな成長事業を創出する』『成長事業に向けた投資を積極的に実行する』を方針として、事業の

成長に向けた取り組みを進めてまいります。

国内棚卸サービスについては、『技術と仕組みによる高品質のサービス提供』『ダイバーシティ経営の実現』『デジタルトランスフォーメーションの取り組みの推進』を重点施策とし、顧客へのサービス価値向上に取り組んでまいります。生産性の面では、棚卸作業の効率化を目的とした次世代棚卸業務システム等の開発に加え、業務フローの再構築や一元化およびテクノロジーを活用した社内業務効率化等の取り組みを推進してまいります。また小売業のデジタル化推進に伴いデータの精度に求められるレベルが高まっていることから、作業品質のさらなる改善を図るとともに、既存サービスの価値向上を実現するデジタルトランスフォーメーションの取り組みを通じて、顧客に貢献してまいります。

リテールサポートサービスについては、『店舗改装業務および店舗商品補充業務のサービス価値向上と新規顧客の獲得』を重点施策とし、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化を背景とした店舗作業のアウトソーシングニーズの高まりを的確に捉え、小売店舗の売上拡大や生産性向上に寄与できる様々な提案・拡販を行ってまいります。

また、巡回型メンテナンスサービスや小型店舗向け支援サービスの展開など新たな分野へのサービスの提供を通じ、多様なニーズに応えてまいります。これらにより、チェーンストアおよびその周辺産業の発展に寄与してまいります。

海外棚卸サービスについては、海外独自のサービス開発により、顧客のアウトソーシングニーズを捉えた様々なサービス提案・拡販を行って参ります。また国内棚卸サービスのテクノロジーの活用や従業員教育およびシステム投資によりサービス品質および生産性の向上に努めてまいります。これにより、海外におけるエイジスブランドを確立し、内資企業の顧客先を拡充することにより、売上・利益の拡大および収益体制の強化を図ってまいります。

通期の連結業績見通しにつきましては、売上高27,300百万円（当期比2.4%減少）、営業利益4,000百万円（当期比15.3%減少）、経常利益4,060百万円（当期比16.5%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益2,740百万円（当期比14.0%減少）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,388,410	13,296,108
受取手形及び売掛金	3,797,975	3,699,150
有価証券	—	305,990
貯蔵品	27,816	46,235
その他	195,894	234,906
流動資産合計	15,410,096	17,582,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,000,507	1,006,085
減価償却累計額	△520,313	△557,596
建物及び構築物(純額)	480,194	448,489
工具、器具及び備品	1,062,432	874,839
減価償却累計額	△882,331	△658,864
工具、器具及び備品(純額)	180,100	215,975
土地	1,276,394	1,276,394
その他	1,789	9,460
減価償却累計額	△1,403	△3,267
その他(純額)	386	6,193
有形固定資産合計	1,937,075	1,947,053
無形固定資産		
のれん	114,410	77,667
その他	765,565	734,099
無形固定資産合計	879,975	811,767
投資その他の資産		
投資有価証券	2,529,948	3,489,998
繰延税金資産	238,286	354,856
その他	362,097	350,735
投資その他の資産合計	3,130,332	4,195,590
固定資産合計	5,947,384	6,954,410
資産合計	21,357,481	24,536,800

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	60,000	77,207
1年内返済予定の長期借入金	3,513	3,545
未払金	2,170,125	2,227,293
未払法人税等	736,534	1,164,008
未払消費税等	634,126	632,821
賞与引当金	444,407	435,462
役員賞与引当金	9,249	5,440
その他	317,998	289,625
流動負債合計	4,375,954	4,835,404
固定負債		
長期借入金	7,658	4,112
退職給付に係る負債	6,987	8,141
その他	57,659	57,518
固定負債合計	72,304	69,772
負債合計	4,448,259	4,905,177
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	498,213	502,232
利益剰余金	19,421,423	22,003,505
自己株式	△3,740,906	△3,733,302
株主資本合計	16,653,729	19,247,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,637	93,917
為替換算調整勘定	△49,761	△72,552
その他の包括利益累計額合計	△2,124	21,364
非支配株主持分	257,615	362,823
純資産合計	16,909,221	19,631,623
負債純資産合計	21,357,481	24,536,800

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	28,402,305	27,966,137
売上原価	19,614,668	18,766,899
売上総利益	8,787,637	9,199,238
販売費及び一般管理費	4,510,065	4,478,270
営業利益	4,277,571	4,720,967
営業外収益		
受取利息	23,280	33,547
受取配当金	8,058	8,324
受取賃貸料	21,947	21,174
物品売却益	5,280	7,823
補助金収入	—	57,740
その他	29,538	30,161
営業外収益合計	88,104	158,772
営業外費用		
支払利息	888	570
為替差損	4,476	3,420
賃貸費用	10,461	10,221
その他	6,142	2,576
営業外費用合計	21,969	16,790
経常利益	4,343,706	4,862,950
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	25,660	—
特別利益合計	25,660	—
特別損失		
固定資産除却損	976	2,333
関係会社株式評価損	—	21,022
特別損失合計	976	23,355
税金等調整前当期純利益	4,368,391	4,839,594
法人税、住民税及び事業税	1,295,348	1,686,233
法人税等調整額	11,387	△136,412
法人税等合計	1,306,736	1,549,820
当期純利益	3,061,655	3,289,773
非支配株主に帰属する当期純利益	50,253	102,260
親会社株主に帰属する当期純利益	3,011,401	3,187,513

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	3,061,655	3,289,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,877	46,280
為替換算調整勘定	△11,300	△23,492
その他の包括利益合計	△37,178	22,788
包括利益	3,024,476	3,312,562
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,973,462	3,211,002
非支配株主に係る包括利益	51,013	101,559

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	475,000	492,088	16,956,370	△3,746,490	14,176,968
当期変動額					
剰余金の配当			△546,349		△546,349
親会社株主に帰属する当期純利益			3,011,401		3,011,401
自己株式の取得				△273	△273
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		0			0
自己株式の処分		6,123		5,857	11,981
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	6,124	2,465,052	5,584	2,476,761
当期末残高	475,000	498,213	19,421,423	△3,740,906	16,653,729

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	73,514	△37,699	35,814	215,660	14,428,444
当期変動額					
剰余金の配当					△546,349
親会社株主に帰属する当期純利益					3,011,401
自己株式の取得					△273
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					0
自己株式の処分					11,981
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△25,877	△12,061	△37,938	41,954	4,015
当期変動額合計	△25,877	△12,061	△37,938	41,954	2,480,776
当期末残高	47,637	△49,761	△2,124	257,615	16,909,221

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	475,000	498,213	19,421,423	△3,740,906	16,653,729
当期変動額					
剰余金の配当			△605,431		△605,431
親会社株主に帰属する当期純利益			3,187,513		3,187,513
自己株式の取得				△857	△857
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△401			△401
自己株式の処分		4,420		8,461	12,881
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4,019	2,582,082	7,603	2,593,705
当期末残高	475,000	502,232	22,003,505	△3,733,302	19,247,434

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	47,637	△49,761	△2,124	257,615	16,909,221
当期変動額					
剰余金の配当					△605,431
親会社株主に帰属する当期純利益					3,187,513
自己株式の取得					△857
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△401
自己株式の処分					12,881
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	46,280	△22,791	23,488	105,208	128,697
当期変動額合計	46,280	△22,791	23,488	105,208	2,722,402
当期末残高	93,917	△72,552	21,364	362,823	19,631,623

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,368,391	4,839,594
減価償却費	366,335	324,835
のれん償却額	36,742	36,742
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,550	△13,766
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,859	△3,715
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,848	1,544
受取利息及び受取配当金	△31,338	△41,872
支払利息	888	570
固定資産除却損	976	2,333
関係会社株式評価損	—	21,022
売上債権の増減額 (△は増加)	144,180	99,060
未払金の増減額 (△は減少)	△133,652	11,012
未払消費税等の増減額 (△は減少)	288,152	6,379
その他	△110,422	△9,272
小計	4,928,410	5,274,469
利息及び配当金の受取額	31,314	34,656
利息の支払額	△1,214	△570
法人税等の支払額	△1,320,876	△1,261,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,637,633	4,047,337
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	100,000	—
定期預金の預入による支出	△1,539,982	△312,777
定期預金の払戻による収入	1,243,191	1,533,546
有形固定資産の取得による支出	△123,262	△202,826
有形固定資産の売却による収入	22,740	22,438
無形固定資産の取得による支出	△265,243	△140,332
投資有価証券の取得による支出	△600,000	△1,200,000
差入保証金の差入による支出	△27,497	△25,544
差入保証金の回収による収入	29,124	26,096
その他	△2,100	△9,786
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,163,029	△309,185

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△25,663	17,068
長期借入金の返済による支出	△6,179	△3,513
自己株式の取得による支出	△273	△857
配当金の支払額	△545,479	△600,607
非支配株主への配当金の支払額	△3,165	△3,568
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△10,000
その他	△5,853	6,815
財務活動によるキャッシュ・フロー	△586,614	△594,664
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,712	△6,564
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,880,277	3,136,923
現金及び現金同等物の期首残高	7,912,520	9,850,526
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	57,727	—
現金及び現金同等物の期末残高	9,850,526	12,987,449



## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、実地棚卸サービスおよびリテイルサポートサービスを行っております。グループ各社はそれぞれ独立した経営単位であり、各社ごとに戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは法人を単位としたセグメントから構成されており、「国内棚卸サービス」、「リテイルサポートサービス」および「海外棚卸サービス」を報告セグメントとしております。

「国内棚卸サービス」においては、国内における実地棚卸サービス事業を行っております。「リテイルサポートサービス」においては、人材派遣、集中補充サービス、カスタマーサービス・チェックサービスおよび広告企画・制作を含むリテイルサポートサービス事業を行っております。また「海外棚卸サービス」においては、海外における実地棚卸サービス事業を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、一般取引条件に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポートサービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	17,228,950	8,598,859	2,574,495	28,402,305
セグメント間の内部売上高又は振替高	74,630	120,396	—	195,026
計	17,303,580	8,719,256	2,574,495	28,597,332
セグメント利益	3,594,676	530,104	133,403	4,258,185
セグメント資産	17,596,079	3,276,190	1,556,956	22,429,226
その他の項目				
減価償却費	319,313	13,036	33,985	366,335
のれんの償却額	—	36,742	—	36,742
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	397,145	2,648	27,087	426,881

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテールサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	16,709,758	9,487,196	1,769,183	27,966,137
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56,024	93,374	—	149,399
計	16,765,782	9,580,571	1,769,183	28,115,537
セグメント利益又は損失(△)	3,719,512	1,089,403	△109,490	4,699,425
セグメント資産	19,782,854	4,342,238	1,445,460	25,570,554
その他の項目				
減価償却費	274,453	21,188	29,194	324,835
のれんの償却額	—	36,742	—	36,742
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	294,640	32,020	4,596	331,256

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,258,185	4,699,425
セグメント間取引消去	19,386	21,542
連結財務諸表の営業利益	4,277,571	4,720,967

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	22,429,226	25,570,554
セグメント間取引消去	△1,071,745	△1,033,754
連結財務諸表の資産合計	21,357,481	24,536,800

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表 計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	366,335	324,835	—	—	366,335	324,835
のれんの償却額	36,742	36,742	—	—	36,742	36,742
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	426,881	331,256	—	—	426,881	331,256

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	国内棚卸サービス	リテイルサポートサービス	海外棚卸サービス	計			
当期末残高	—	114,410	—	114,410	—	—	114,410

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	国内棚卸サービス	リテイルサポートサービス	海外棚卸サービス	計			
当期末残高	—	77,667	—	77,667	—	—	77,667

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,980.27円	2,290.28円
1株当たり当期純利益	358.18円	378.94円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,011,401	3,187,513
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	3,011,401	3,187,513
普通株式の期中平均株式数(株)	8,407,504	8,411,548

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 役員の変動

###### ①代表取締役の変動

該当事項はありません。

###### ②その他の役員の変動

###### ・新任監査役候補

常勤監査役 西岡 博之 (現 財務経理部長)

社外監査役 野間 自子 (現 三宅坂総合法律事務所パートナー)

###### ・退任予定監査役

常勤監査役 鎌田 陽一

社外監査役 船橋 茂紀

###### ③就任及び退任予定日

2021年6月29日

以上